

平成28年度第1回東成区区政会議 子ども・教育部会 会議録

1 開催日時 平成28年6月21日（火） 19時から20時30分まで

2 開催場所 東成区役所 3階301会議室

3 出席者の氏名

【委員】

田中 英夫（子ども・教育部会議長）、濱田 麗史（子ども・教育部会副議長）、
川人 誠二、小谷 早苗、小林 智恵子、杉原 博、永田 久、西野 功、早見
文子、松田 和子、三枝 直美

【東成区役所】

森本 万喜子（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課
長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、鎌塚 隆男（まちづくり担当課長）、
中川 正己（保健福祉課長）、西山 明子（児童・保健担当課長）、井上 徳久
（まちづくり・教育支援担当課長代理）、植田 浩史（市民協働課長代理）、
花村 朋子（保健福祉課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

○中須賀課長 定刻になりましたので、始めさせていただきます。ちょっと
遅れてお見えになるという連絡も入ってますので。

すみません。皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議子ども・教育部会にご出席
いただきまして、ありがとうございます。私、進行を務めさせていただきます東成区
役所総合企画担当課長の中須賀と申します。どうぞ、よろしくお願いします。

開会に先立ちまして、今回4月に人事異動もございました。今回は担当の課長代理

も出席させていただいておりますので、区役所側の出席メンバー、改めてではございますけど、自己紹介をさせていただきたいと思います。

まず、区長の森本でございます。

○森本区長 こんばんは。よろしくお願いいたします。

○木口副区長 副区長の木口でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○足立課長 総務課長、足立でございます。よろしくお願いいたします。

○鎌塚課長 市民協働課まちづくり担当課長の鎌塚でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○井上課長代理 同じく市民協働課まちづくり・教育支援担当課長代理の井上と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○西山課長 保健福祉課児童・保健担当課長の西山でございます。よろしくお願いいたします。

○大野課長代理 同じく児童・保健担当課長代理の大野と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○植田課長代理 市民協働課長代理の植田でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○中須賀課長 それでは、早速始めてまいりたいと思います。着席して、すみません、進めさせていただきます。

まず、本日の開催状況でございますが、委員13名中8名の方、現在7時2分ちょっと回ったところで8名の方ってということで、本部会が有効に成立している旨、ご報告を申し上げます。

次に、本部会の公開についてですけれども、区政会議に準じて公開となっております。議事録、あるいは、写真等、ホームページ等で公開していく予定となっております。その点、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

もう一点お願いでございます。携帯電話等につきましては、電源をお切りいただき

ますか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

それでは、事前にお送りいたしました資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料としまして、平成28年度第1回東成区区政会議子ども・教育部会、このちょっと分厚いです、74ページ物の資料をお送りしております。それとまた、当日配付資料として机上、机の上に資料1としまして配席図。それと、2番目に27年度子ども・教育部会のテーマと主な意見。これは本日の議題の2にもなってるんですけど、テーマの設定ということで、昨年の第1回部会、6月17日開催の分で部会のテーマを設定してございます。この子ども・教育部会は「子育てネットワークと青少年健全育成並びに体力づくり」ということで、真ん中のあたりに下線、ちょっと太字でお示ししております。そのとき出た主な意見とテーマに基づく意見交換ということで8月24日に開催してます。そのときの主な意見をまとめたものでございます。

続いて、ちょっと黄色の紙で「プラザ☆フェスタ in 深江」、これ、後ほどまた担当の課長のほうから説明があると思います。それと、ブルーの紙で「東成区子育てふれあいサークル大・集・合！」というチラシですね。それと、最後に、「いっしょにのぼそう！子どもの体力」っていうことで、教育委員会のほうから出ております資料、この5種類をお手元、机の上に置かせていただきました。過不足ございましたら、挙手をいただきますよう、お願いします。よろしゅうございますか。

それでは、最初に区長の森本から挨拶をさせていただきます。

○森本区長　改めまして、こんばんは。お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は、平成28年度の第1回目の区政会議の子ども・教育部会ということで、今回の部会では、平成27年度の運営方針の振り返りにつきまして、ご評価をいただくのと、今年度以降の取組みについても併せて、ご意見を頂戴したいと思います。

先ほど、課長のほうから申しましたように、昨年度から各部会でテーマを設けていただきまして、長期も見越して、例えば、うまくいけば来年度予算に向けて、いろいろ

ろご意見とかご検討をいただいて、区役所の施策に活かしていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

また、前回の区政会議のときに少しお話をしたんですけれども、今、分権型教育行政ということで区役所のほうに教育の権限も少しきまして、私も区担当教育次長、教育ラインもおります。その中で区と地域と学校、保護者が連携をして、いろんな教育行政についても頑張っていくようにということで、保護者と地域の方々のご意見も聞くために教育会議というのを設定しなさいということになっておりまして、既に区政会議の部会があるところは、その部会を教育会議ということに充ててもいいということです。ですので、本東成区におきましては、この場を教育会議ということを兼ねさせていただきたいと思いますので、教育の内容についても、いろいろご意見をいただきたいと思います。

また、ほかの部会ではまち歩きをしようとか、少し、他都市の資料を揃えてほしいみたいなこともおっしゃってる部分もありますので、どうぞ、いろんなご意見、ご要望があれば、今日言っていただきたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

○中須賀課長 それでは、田中部会議長並びに濱田副議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○田中議長 皆さん、こんばんは。部会議長の務めをさせていただきます田中でございます。座って進めさせていただきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

なお、ここで西野委員さんが所用により退席されますので、ご理解のほどお願いいたします。どうぞ。

○西野委員 ちょっと勝手いたしますけども、今日何のために来たかわからない部分もございますけども、決してさぼってるのと違ひまして、次に行かなあかんところがございまして、それだけ、よろしくお願いしたいと思います。決してさぼっておりませんので。次がありまして大変失礼いたしますけども、どうぞ、よろしくお願い

たします。失礼いたします。後は、じっくりと会議を進めていただきますように、ありがとうございます。

○田中議長 どうも、ありがとうございます。

それでは、平成２８年度の第１回目の子ども・教育部会の議事に入ります。

本日の議題は、議題１に、平成２７年度東成区運営方針の振り返りと今年度の主な取組みについて。そして、議題２に、部会で議論するテーマについてを予定しております。

まず、議題１について、区役所のほうより説明を受けた後、皆さんの質問やご意見を受けていきたいと思います。その後、議題２に移り、部会で議論するテーマについて話し合いたいと思います。短い時間ではございますが、できるだけ多くの皆さんにご意見をお聞きしたいと思いますので、円滑な進行にご協力のほどお願いいたします。また、前向きなご意見をいただき、実りのある有意義な部会にしていきたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは、議題１を区役所より説明をできるだけ簡潔にお願いいたします。

○中須賀課長 それでは、最初にお配りしております本体の、郵送させていただきました資料、この資料の見方につきまして、私、中須賀のほうから簡単に説明をさせていただきます。

３ページをあけていただきまして、今回の議題１は２７年度の運営方針の振り返りと今年度の主な取組みについてでございます。おさらいではありますけれども、３ページの上段記載のとおり、運営方針とはという囲みがございます。市政改革プランなど、全市的な方針を踏まえまして、東成区で行う施策の全体像を示す方針として、毎年度策定しているものでございまして、さまざまな課題解決のための施策や具体的取組みを示しております。

東成区では２７年度につきましては、その次に記載しております５つの課題について、重点的に取り組んできたところです。参考に関連する部会ということで右側に書

いておりますけれども、この子ども・教育部会に関連しますのは、課題2の子育て支援の充実でございます。この課題2につきまして、後ほど担当の課長から説明をさせていただきますと思います。この資料、27年度と28年度の東成区運営方針から要点部分を抜き取りまして、ちょっと見やすく、わかりやすくという観点で編集したつもりでございます。6ページから22ページがこの部分に当たります。23ページから、ちょっと細かい字になっておりますけれども、49ページまでが大阪市の様式の27年度運営方針で、続いて50ページから最終74ページが28年度の運営方針となっております。

4ページにちょっと戻っていただきまして、上の部分、区政会議資料と運営方針の対比例と書いておりますけれども、区政会議資料の、例えば6ページに記載の部分をこれを例に27年度と28年度の運営方針のどこから抜粋してるのかと。これは後ろのほうの資料は非常に細かく詳細に書いておりますので、要点を抜粋した形にしておりまして、例えば、4ページの7行目あたり、課題1、安全・安心（防災・防犯）のところは27年度運営方針本体では、真ん中あたりに記載してありますが、参考資料1、P. 25とありますが、これは25ページの真ん中あたりの課題の要点のところからとってきてるということを示しております。5ページに移りましても、27年度の業績目標、取組実績、業績目標の達成状況。これらも本体の運営方針のどの部分から取り出しているかというのを参考資料1、P. 26というふうにお示しして、そこからとっておりますということですので、詳しく見るということでございますと、その該当ページをまた見ていただけたらと思います。

私からの資料の見方についての説明は以上でございます。

○西山課長　引き続きまして、子育て支援の充実についての内容の説明をさせていただきます。8ページをご覧ください。8ページの上の段ですけれども、子育て支援の充実について、課題を4点整理しております。1点目ですが、核家族化や地域コミュニティの希薄化によりまして、子育てが孤立しやすく、子育てに不安感や負担感

を感じる子育て家庭が多いということ。２点目、子育て家庭が安心して子育てできるように、身近な相談・支援体制の充実やさまざまな機会、あるいは多様な媒体を活用した情報提供に努めて、地域社会全体で子育て中の保護者を支援する仕組みを充実させていく必要があるということ。３点目ですが、仕事と子育ての両立支援が図られるよう、保育所待機児童０の状態を維持していく必要がある。４点目ですが、健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭や学校園、地域が連携して、子どもや学校を支える環境づくりが必要であるということで、課題を整理しております。

具体的な取組みについてですが、まず、具体的取組み２－１－１の子育てネットワーク構築支援事業についてご説明します。子育てを支援するための地域のつながりづくり、ネットワーク構築、つながりづくりをするということで、まず、業績目標としては、東成区の独自の取組みであります、「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」、これは何度かご説明させていただいたかと思いますが、子育て家庭が地域とのつながりを作っていくのを応援できる仕組みになっておりまして、このすくすく・つながるクラブの登録者数を２７年度末までに就学前の児童の約２０％、約８００人になりますが、２０％以上をめざすという目標を設定してまいりました。取組みの実績としましては、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブの利便性を高めるために地元商店街等の店舗や企業、あるいは、大阪府と連携しまして、つながるクラブの利便性の向上を図ってまいりました。

具体的には、商店街のご協力をいただきまして、例えば、つながるクラブのご会員さんがクラブのカードをお店で提示しますと割引きであるとか、そういったサービスを提供していただくというふうな利便性の向上を図ってまいりました。また、子育てイベントあるいは、子育てを地域で応援する応援隊事業も実施してまいりました。業績目標の達成状況でございますが、平成２７年度末のすくすく・つながるクラブの登録者数は、１，１９９人ということで、目標としての業績目標が達成したと考えてお

ります。なお、２７年度の１年間の登録者数が８０２人で、１年目の２６年度については４０７名でしたので、倍増ということになっております。

今後２８年度の主な取組みとしましては、すくすく・つながるクラブの取組みを推進するとともに、子育てイベントも充実を図っていき、子育て応援隊を各地域へ派遣するなど、子育てを応援する取組みを、さらに推進していきたいと思っております。参考に５７ページですね。もともとの区の運営方針をご参照ください。５７ページの中ごろから具体的取組み２－２－１。これが運営方針自体の様式になっています。その左の上に計画がありまして、先ほど、子育てイベントを充実するということを記載しておりましたが、今、小さい字で幾つか例示を挙げていますけれども、大体年に４回ぐらいのイベントを開催させていただいております。「子育てふれあいサークル大・集・合！」、あるいは、「子育てフォーラム」、「プラザ☆フェスタ」ということで、昨年度、新たにつながるクラブのリニューアルにより、利便性を高めたことによる記念のイベントとして「すくすく・つながるうんどうかい」を開催させていただきました。

今年度については、さらに、配付させていただいておりますが、先ほど、チラシの紹介がありましたが、黄色いチラシをご覧ください。今の４回のイベントの開催は、今年度も予定をしているのですが、さらに、６月１１日に「プラザ☆フェスタ in 深江」ということで開催をさせていただきました。これは、今までの子育てイベントが区民センターで開催していたのですが、区民センターは利便性高いのですが、区民センターから遠いところのご家族にも参加しやすいようにということで、深江の地域のご協力をいただいて、あるいは、深江小学校のご協力をいただいて、プラザ☆フェスタ in 深江という形で子育てイベントを開催いたしました。おかげさまで、参加者は２１１名ということで、たくさんの方にご参加をいただいたところです。今後も子育て家庭のニーズを踏まえ、支援の充実を図りながらさまざまな取組みを進めていければなと思っております。

ご参考にちょっと、開催が近かったので、このブルーのチラシも用意させていただきましたが、「東成区子育てふれあいサークル大・集・合！」が7月6日の10時から12時、区民センターで開催をさせていただきます。地域、11校区でふれあいサークルということで、主任児童委員や地域のボランティアさんが子育て家庭の遊び場であるとか、親子同士の触れ合いの場ということで開催していただいてますが、11校区がご協力いただいて大集合ということで開催をさせていただくイベントになります。参考に紹介させていただきました。

9ページに戻っていただけますでしょうか。9ページ、二つ目の具体的取組み2-1-2ですが、子育てに係る情報提供の充実ということで、27年度業績目標については、地域の子育て情報が充実していると感じる人の割合85%を設定していました。取組み実績としましては、子育て情報誌の発行に係る編集会議を2回開催しました。この編集会議というのは、子育て中の当事者の方も入っていただいて、当事者のニーズを踏まえながら情報誌を発行するもので、27年の12月に発行させていただきます。業績目標の達成状況としましては、乳幼児健診時のアンケートの結果ですね。子育て情報が充実していると感じる人の割合が86%でございましたので、業績目標としては達成したと考えております。今後も情報提供については充実させようと考えておりますので、28年度以降も子育てに役立つ情報誌の発行やFacebookの活用、あるいは、子育て家庭が必要とする情報の発信をさまざまな媒体で充実させていきたいというふうに考えております。

三つ目の具体的取組みとしまして、2-1-3、保育所待機児童の解消です。27年度の業績目標としては、保育所の待機児童数、28年4月1日時点で0というのを目指してまいりました。取組みの実績としましては、区内の保育所と随時、連絡調整を行ってまいりました。27年度には東成区内に認可外保育所だった保育所が認可保育所に移行するということもございましたので、利用者の選択肢も増えたかと考えております。業績目標の達成状況としましては、平成28年4月1日時点で保育所の待

機児童数としては0ということになっておりますので、業績目標としては達成をしたと考えております。待機児童はあくまで、厚生労働省の定義上に当てはめて待機児童という意味では0ということですが、まだまだニーズは多いと考えておりますので、引き続き、28年度以降も子育て世帯の要望等について、保育所（園）、あるいは、関係局、大阪市でいうと、こども青少年局と適宜情報共有を図りながら、仕事と子育ての両立支援を図ってまいりたいと考えています。

区役所に関連して、運営方針の取組みとしては以上なんですけど、少し大阪市の動きとして、子育て支援に係る補助ということで、ちょっと情報提供させていただきます。口頭で申しわけございません。

お聞きになられたこともあるかもしれませんが、この4月から、5歳児に係る幼児教育の無償化という動きがあります。乳幼児教育については基礎の学力等を培う重要な時期ということもありまして、子どもの幼児教育の無償化を図ることで子どもたちが家庭の経済状況にかかわらず質の高い幼児教育を受けることができるようにということで、始まった制度でございます。

この5月に大阪市のほうが補正を組みまして、今、全国的に保育所の保育所人材が不足しているという課題があります。そういった中で、例えば、市内の民間保育所が新規採用の保育士さんにいろいろ準備、就職に当たっていろいろと経費が必要ということもありますので、特別な給付をする場合には補助を出しましょうという事業であるとか、あるいは、保育士さんが宿舎を借り上げる場合には補助をしましょうというような経費も予算化されております。

それと、保育所にも保育所自身に保育に専念していただけるように、できるだけ保育に係る事務を軽減するということで、保育所等におけるICT等の推進ということで、そういった経費も計上されているというふうになっております。

子育て支援の説明は以上です。

○鎌塚課長　　続きまして、学校教育に関しまして、10ページのほう、ご覧いただ

けますでしょうか。具体的取組み 2-2-1、子どもが育つ良好な環境整備というところでございますけれども、取組み内容につきましては、小・中学校の校長先生と区との意見交換を通じまして、学校、家庭、地域が協力し合い、子どもが育つ良好な環境を整える支援に取り組むというものでございます。業績目標として上げておりましたのが、区役所との意見交換が有意義であると感じる学校長の割合 60%としておったところでございます。具体的には学校長との意見交換会、21回実施いたしまして、アンケートの結果、区役所との意見交換が有意義であると感じる学校長の割合は 100%ということでございましたので、業績目標は達成しておるところでございます。28年度の運営方針といたしましては、引き続き、小・中学校の校長との意見交換会を行い、学校が必要とする支援を行うこととしておるところでございます。

続きまして、2-2-2、学校との連携強化についてでございますけれども、この取組み内容といたしましては、学校との情報共有や意見交換を行うことによりまして、土曜授業等の実施を支援することとしておりました。業績目標といたしましては、区役所と学校との連携が進んでいると感じる学校長の割合が 60%としておりましたが、これにつきましては、アンケートの結果、区役所と学校の連携が進んでいると感じる学校長の割合 93%、100%ちょっと至らなかったんですけれども、業績目標のほうは達成しております。28年度の運営方針では具体的取組みの 2-2-1、子どもが育つ良好な環境整備につきまして、先ほど、申し上げましたように、引き続き、小・中学校の校長との意見交換会を行いまして、学校が必要とする支援を行うこととしておるところでございます。

27年度の具体的な取組みなんですけれども、区内全小学校 6 年生を一堂に会しまして、12月に平和学習会を実施いたしました。

それと、2-2-2の土曜授業では、学校と区と合同で小学校での震災訓練や防災・防犯の取組みを実施してきたところでございます。

28年度の、今年度の取組みなんですけれども、今現在、計画中ということで、進

めておりますのが、一つは子どもたち、保護者を対象として、スマートフォンが持つ危険性についての学習会を行う予定でございます。

また、議題2のテーマにも関わるわけなんですけれども、体力づくりの一環といたしまして、小学校体育連盟とも連携をいたしまして、区内全小学校6年生が長居競技場をお借りしまして、スポーツ交歓会を行います。日ごろの学校運動場とは違った環境の中で、全11校の6年生が交流し体力づくりに励むということで、計画しておるところでございます。

それと、中学校につきましては、東成区中学生サミット、伊勢志摩サミットはもう終わったわけなんですけれども、東成区中学生サミットと銘打ちまして、区内全中学校から中学生の代表、各学校3名から5名の子どもたちを募集いたしまして、自分たちが将来にわたって住み続けたい東成区、暮らし続けたい東成区、そういったことについて、子どもたちに柔軟な発想で意見交換を進めながら、最終的に学校同士の交流を深めること。あと、最終的に区への提案としてまとめていただいて、区長との意見交換会を行う計画を、現在進めておるところでございます。

運営方針に係りましては以上でございます。どうか、よろしくお願いいたします。

○田中議長 ありがとうございます。

今の、子育て支援の充実に関しては西山課長さんより、そして、子どもが育つ良好な環境整備については鎌塚課長さんよりご報告がありましたが、この件に関しまして、委員の皆さんのご意見とか、ございましたらお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

大体いつもこの辺で意見は出ないんですけども、順番に一言ずつお聞きしていただいてもよろしいですか。すみません。

○三枝委員 勉強不足で申しわけないんですけど、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ、私の理解度では誰とつながるかっていうのは、主任児童委員さんとながつて、相談しやすい関係づくりにつながる。あとは、付属で商店街、お得な活用が

できるよみたいなどころしか知らないんですけれども。どんな、具体的効果があるんでしょうか。

○西山課長　主任児童委員さんと、まず、つながるというのはそのとおりでして、それに対して、このカード自身は地域の子育てサークル、各校区の子育てサークルとか、東成区役所の２階にあります子育て支援センター、あるいは、この子育てプラザを利用するときにカードを提示するだけで、情報が共有されていますので、一々、申込みに当たって住所、氏名を書いたりとか、そういうことは必要なくて、提示するだけで気軽に参加していただけるということがありますので、そういう意味で、地域のそういった子育てを応援する場で、あるいは、そこに集まった、もちろん主任児童委員さんや地域のボランティア様には親子同士がつながっていくということが主になっているかなと考えています。そういった、例えば、商店街で利便性が高まることもあるんですけれども、目的としては、それをきっかけにこのクラブに入っていて、こういった地域での子育てを応援する場に参加していただいて、地域のつながりづくりを進めていただけるきっかけになるように、利便性を高めていきたいなというふうに考えております。

○三枝委員　すみません、最初に、地域コミュニティーの希薄化により、子育て、孤立しやすくなっていうところには、直接はつながりづらいのかなと思うんですね。大枠はつながりはつくるであろうけれども、地域の誰とつながっているかといったら、主任児童委員さんという決まった方とつながっているだけでして、私たち、別に、一般の住民とは特につながりは持たれませんし、それはそれでいいのかどうかですけど。

○西山課長　まだまだできたばかりの仕組みです。せっかくの仕組みなので、何か活かして、そういうのにつなかりで広げていけるような工夫ができるかなと思っております。

○三枝委員　多分、見えてくるかなと思うんです。

○松田委員　主任児童委員してます視点からなんですけれども、確かに、カードを

お配りするんですね。そのときに初めて、近くなのに、この家にこんな小さい赤ちゃんがおられたんだとか。そういう新しい発見というか、ちょっとそういうので地域と共有、その方が孤立しないようにということを今、重点に配らせていただいたりですか、そういうことをさせていただいています。

確かに、ほかの住民の方とつながるかどうかっていうのはちょっとわからないんですけれども、そういったことを通して、地域でやってる子育てのサークルですね、ほかの地域の方とかもどんどん来られるんですね。うちの地域1組やのに、ほかの地域のほうが多いなっていう日もあったりですか。そういうことを通じて若いお母さん同士が知り合いになっていいのかな、それの、私らお手伝いさせていただいているのかなと思って。

○三枝委員 何でもそうなんですけど、やっぱり、つながろうってこっちから思ってる人っていうのは申し込めますし、利用はするんですよ。反対に、そうでない方をどうやって。

○松田委員 そうなんです。来てくださったらいいなんですけど、サークル、なかなか、その辺、私らもいつも考えるところなんですけど。

○三枝委員 一番、だから危険なのは、そういう人たち。危険って言ったらちょっと言い方まずいかもしれないですけども、難しい課題です。

○松田委員 そうですね、カードを入ろうって方しかなので、課題は課題です。

○西山課長 そうですね。一番、そこは難しいところかなと思っております。一応、出生届とかがあれば、皆さんに周知、ぜひ入ってくださいっていうことで勧誘もしているんですけど、そういう意味でいろいろまだまだ工夫が要るかなと思ってます。ただ、商店街で、例えば、今までその、いいかなと思ってたのが割引きありますよということで、申込者が倍増したこともありますので、そういう意味では今まで入ろうとは思わなかったご家庭が入っていただけたということもありますので、区の工夫だけではないと思いますけれども、今後もそういう視点で広げていければなというふう

に思います。ありがとうございます。

○三枝委員 いいですか、もう一個。

○田中委員 どうぞ、どうぞ。

○三枝委員 申しわけない。待機児童のことになるんですけども、認可外保育所が認可保育所に移行した。これは何施設、何人分ぐらいが移行されたんでしょうか。

○西山課長 1施設。

○三枝委員 待機児童が0人になってるっていうことは、子どもの数が単純に減ったからなのか。施設が、保育所、そういう事業所、施設が増えたからなのか、両方なのか。

○西山課長 待機児童は東成の場合は26年から3年間一応0人になっているのはいるんです。施設が増えたからということではないんです。ただ、謙虚に受けとめないといけないのは、待機児童というのは厚生労働省の定義でありますので、例えば、AとBと保育所が二つあった場合、例えば、A保育所だけじゃなくてBもありますよということで、こちらからご提示して、Aでも通園できますということで特定の保育所だけ埋まっている場合には待機児童という名称にはならないという事情があるので、そういう定義上に当てはめれば0になっているということだけですので、まだまだお待ちいただいている保育ニーズはあるというふうに考えてます。

○三枝委員 子どもの数ってどうなんですか。東成区の子どもさんの数っていうのは減ってるんですか。

○西山課長 減ってるか、増えてるかですね。今のところは、将来的には少子化ということではあると思いますけれども、増えてきているということではないですね。

○三枝委員 それでですけど、知り合いの方が、自営業されてる方なんですけれども、申込みをされるために行ったら、日数は足りてるんですね。働いて、自営業ですからほぼ毎日のように働いてますけれども、それに見合う収入っていうのは、自営業だからゆえに、奥さんとしてはいただいてないと。それが要件に当たらなかったって

いうんですか。調整の基準にならなかったの、待機でもないという。だから、申し込めなかったってことだったんですね。そこら辺がちょっと残念だなって思うところでして、もうちょっと柔軟な対応ってないのかなって思うんですよね。実際に働いてるのは働いてる。やっぱり、子どもさんがいるからちょっと制限、昔やったら背負ってやりなよって感じなんですけどね。そうも言えないところもありますしね。

○西山課長　入所の条件といいますか、考え方としては、大阪市の基準で24区とも平等になるように、公平、平等にという観点から点数化しているので、ただ、もちろん、そういう基準があればそれで助かったところがあればよくない部分もありますので。

○三枝委員　基準はね、あると思うんですけど。働いてるのには変わらないしなとは思っています。

○西山課長　そういう実態とか、お声がありましたら、先ほど関係局と情報共有するということでございまして、一応、お声があったりニーズがあるところに対しては対応していきたいと思いますので。

○三枝委員　ありがとうございます。

○田中議長　もう、ございませんか。子育て支援のほうで、何かご意見ございませんか。PTAさんのほうから、子どもが育つ良好な環境整備のほうで何か、川人さん。

○川人委員　特に今、感じていることはないんですけど、先ほどの話ちょっと戻りますけど、今のお話で、入れない方というのは認可外保育所だったら入れるとか、そういうことなんですか。そういう意味じゃないんですか、認可外保育所。

○西山課長　認可外について、もし空きがあって調整ができるのであれば、ただ、認可外の場合は面積のほうで基準を満たしていてという認可した保育所ではないということになりますので、もしも認可でそういった認可外保育所であるとか、あるいは、そういう機会があって、そちらを利用される方もいらっしゃると思いますが。

○川人委員　場所とかいろいろあって、認可されないところが何かあるとか、そう

いう条件があるということでしょうか。

○西山課長　そうですね。面積基準であるとか、職員数であるとか、そういう基準が満たしている場合は認可保育所ということなんですけれども。

○川人委員　ありがとうございます。

○田中議長　学校のほうの関係で、校長さんとの意見交換がかなり増えてるようにお聞きしましたけども、学校協議会も、私も参加させていただいて、区役所のほうの職員の方も来られて同席して、お話し合いは、この１、２年されてますので。

○鎌塚課長　学校協議会とは全く別でして、年３回、学校協議会のほうを開いていただいていると思うんですけれども、そのカウントはこちらのほうには入れておりませんでして、あくまで、校長と区役所、１５校との意見交換会。

○田中議長　意見交換だけですか。地域の方は全然入ってないということですね。

○鎌塚課長　そうです、はい。

○田中委員　土曜授業のほうも出席されてるんですね。土曜授業は。

○鎌塚課長　土曜授業のほうも防災の担当であるとか、防犯の担当とかが学校のほうに行きまして、学校と連携して、あと、地域によりましては、連合と合同でやらせていただいているところもございます。

○田中委員　うちは片江ですねんけども、防災訓練、小学生も中学生も参加、最近からしております。今度も７月３日にあるんですけれども、中学生だけで３０人ほど来ていただくというふうに聞いてますので、よその校下の方はあまり情報がないんで。

○小林委員　深江なんですけど、まちづくり活動協議会の行事に対して、例えば、今言われた防災訓練なり、イベントですね。それには必ず小学生とか幼稚園児を声かけして、一番近くにあるのが、「ひまわり祭り」という花の祭りがあるんですけど、それに写生大会をしたりとか、そういうイベントにできるだけ子どもさんを引っ張ろうとしてるんですけど、なかなか出てこられる人数は限られてるんですけど、歴史文化まつりのときにスタンプラリーしたりとか、そういうふうにいる子どもさんを

引っ張り出すようなことは考えて、そこから、まちづくり活動協議会の中ですけど、それでやってるんですけど。まあ、そういうことで。

○田中議長 ありがとうございます。

○小林委員 それで、今、言われた土曜日の授業はほとんど公園清掃、小学校と中学校から年2回ずつ公園清掃を手伝ってもらうというような形になっております。

○田中議長 ここにおられる方、11校区から代表が出席されてないと思いますので、情報聞くのは難しい。

○杉原委員 議長、さっきおっしゃってた震災、防災訓練いうたら、中本の場合もここ2年間やって、今年もちょっと時期は学校行事等の絡みで、うんと遅れて11月の予定になっております。それと、小学校区じゃないんですけど、私の保護司の絡みからちょっと拝見しますと、社会を明るくする運動の強調月間ということで、3中学校でそれぞれ中学の校長先生、教頭先生、また、生活指導の担当の先生、それで、PTAの方たちが各校下ごとにそれぞれ警察署の方がお見えいただいて、簡単な講演をいただくというふうなことをやっております。

○田中議長 各校下小学生、中学生を交えたイベントはしてるということですね。

○杉原委員 そういうことですね。

○田中議長 議題1に関して、もしないようでしたら、2のほうに移りたいと思うんですけども、よろしいですか。

それでは、部会で議論するテーマについてです。昨年の第1回目の部会において、この部会で検討するテーマを決めております。この部会のテーマは、「子育てネットワークと青少年健全育成並びに体力づくり」でございます。本部会では、このテーマについて、より深く議論を行い、区役所で取り組めることがあれば、部会として意見を取りまとめまして、提言を申し上げたいと思います。この部会の皆さんの意見をお聞きして、区長さんのほうにお伝えしたいと思いますが、よろしくお願いいたします。

子育てネットワークと青少年の健全育成並びに体力づくりのテーマにつきましては、

地域ではこんなことに困ってるといった課題やこうすればよくなるのではないかといった要望や改善のアイデアなどを出していただきまして、最後に本部会として、まとめて、意見を提出したいと思います。初めに、区役所のほうから追加資料があるようですので、子育てのほうはもうよろしいですね。

○鎌塚課長　すみません、あと、もう一点資料ということで、「いっしょにのぼそう！子どもの体力」、教育委員会から地域の皆様方、保護者の皆様方ということで、リーフレットが作成されておりました、それを本日、体力づくりのほうでまた議論をしていただきたいということで、ちょっと配らせていただいております。

このリーフレットにつきましては、平成27年度、全国体力・運動能力、運動習慣等調査ということで、全国調査が出されまして、大阪市の概況、概要そのものを今年の1月にホームページ等々を通じまして発表してるわけなんですけれども、そのときに添付されていた資料でございます。今、申し上げました体力調査に関しましては子どもたちの健康や体力に関心を、保護者の方であるとか、市民の皆様方にも関心も持っていただくため、それとまた、子どもの体力向上に向けてもご協力いただくためということで、調査結果のほうを公表しておるわけなんですけれども。

概況だけちょっと申し上げますと、平成27年度の全国調査結果との、大阪市との比較ということで申し上げますと、小学校では、ちょっと資料ないので申しわけなんですけれども、男女ともに前年度に引き続いて、ボール投げで全国平均を上回った。また、男女ともに握力で全国平均を上回った。他の種目では残念ながら全国平均を下回ったということでございます。昨年度、平成26年度ということでございますけれども、全国平均との差が顕著でありました反復横跳びであるとか、20メートルシャトルラン、立ち幅跳びのこの3種目については、27年度におきまして、反復横跳び、20メートルシャトルランについては、わずかに全国平均近づきましたけれども、立ち幅跳びは差が広がった。そういった結果が出ておるところでございます。

中学校につきましても申し上げますと、男女ともに握力で全国平均を上回っており

ます。女子はボール投げで全国平均を上回っております。ほかの種目は残念ながら全国平均を下回っております。26年度の状況と比較いたしまして、持久走については、男女ともに差が広がった、立ち幅跳びについては、男子は全国平均にわずかしかな近づくかなかったけれども、女子はかなり近づいた。男子の長座体前屈については、少し差が縮まったということで、大阪市の状況と全国調査結果との比較ということで紹介がなされておるところでございます。

これをお配りいたしました保護者の皆様方へのリーフレットでございますけれども、本日、お集まりいただいておりますのが、地域の皆様方でもあり、PTAの皆様方、保護者の皆様方でもありますので、地域の方、保護者の方をお願いしたいことがまとめられた資料ということでお配りをさせていただいたところでございます。学校でももちろん、体育の授業であるとか部活動であるとか、そういったいろいろな取組みを進めておるところなんですけれども、例えば、地域や家庭で子どもに運動やスポーツをするように勧めましょうとか。そういった大人の方の声かけで、子どもの総運動時間が変わりますということでもありますとか。それと、学校に入る以前の幼児期からいろいろな内容の運動をさせるように心がけましょう。幼時期からそういった運動習慣をつけていくことが大切ですとか。あと、部活動や地域のスポーツクラブ等を利用して、子どもが体を動かす機会をつくりましょうということで、そういった課外活動、課外での運動、活動が子どもの体力に大きくかかわってきますということで、地域や家庭の皆様方にもこういった面でご協力いただきたいということで、作らせていただいております資料ということでございます。ご参考までにということで、本配らせていただきましたテーマについて、また、ご議論いただく際のご参考にしていただければというふうに考えております。

以上でございます。

○田中議長 ありがとうございます。今、鎌塚課長さんから子どもの体力についてご説明いただきましたが、それにつきまして、また、皆さんとご意見を交わしたいと

思いますので、遠慮せずにご発言お願いいたします。

○森本区長　先ほどのではないですけど、校長先生たちと校長会の中でお話をした中で、学校のほうでも、先ほど言いましたように、どうしたら体力づくりができるかという話の中で、小学校は校長先生たちが、ちょうど11月に長居競技場でそういう場があるので、それやったら全校でやったら、すごくみんな競い合うし、仲よしになるし、いいんじゃないかなっていう話が出ました。予算は教育委員会で区長の権限が少しある予算の中から交通費なんかを出しまして、校長先生たちが体育の担当の先生と調整をいただきまして、全校で11月でしたっけね。

○鎌塚課長　11月の8日に。

○森本区長　8日に場所をとっていただいて、競技会をするというようなことができます。それも一つ大きな体力づくりかなと思うんですが、地域のほうでも各種の団体がいろんな工夫をしていただけてますので、区として、こういうことを少し支援をしたり、地域がやろうと思うことを、こういうことをやれば、もっとよくなるんじゃないかみたいなことをご提案いただいたら、例えば、予算自体、そんなにたくさんあるわけじゃないですけど、来年度に向けて少し、そういうことも参考にさせていただけるかなと思います。よろしくお願いします。

○田中議長　今、区長さんのほうから学校の予算をとって競技会をしたらどうかという意見がありましたけれども、これは各中学校全部ですか。

○森本区長　小学校です。

○田中議長　小学校だけですか。

○井上課長代理　大阪市小学校体育連盟といいまして、小学校が290校ぐらい市内にあるんですけども、その体育の教科の先生方が中心となって、11月の上旬、大体、年によって変わるんですけども、1週間から10日ほど、今は名称がヤンマースタジアムとヤンマーフィールドっていうふうに、長居競技場と長居第2陸上競技場の名前変わっておりますが。一定、日中を押さえていただいております。これまで、

東成区内では11小学校のうち数校が限定的にですが、この年度は学校行事の都合がつくのでということで参加した経験があるというふうな情報は聞いておったんですけども、区長も今申し上げましたように、これまでの校長との話し合いの中で、一斉に取り組むということが大事なところじゃないかなというところで、第1陸上競技場ヤンマースタジアムのほうでは、100メートル走とか400メートルリレーとか、なかなか小学校のグラウンドではできないですし、全天候型でのフィールドですので、私も経験ないぐらいの非常に価値のあることかなと思います。また、第2競技場のほうでは、サッカーなりドッジボールなりということで、決して学校間で競い合うようなことではなく、体を同じような時間帯を使って動かそうというのが趣旨、目的でありますので、これを契機にできればなというふうに今年度進めていきたいと考えておる次第でございます。

○森本区長　　今、もしかしたら、さっきの環境整備の中で校長先生たちと話し合うというのも、一つの成果かなということと、体力づくりにも寄与するかなというので、何か競技会やりなさいということではなくて、何か地道なところで、何か地域でやってるんやけど困ってるんやとか、団体でこういうことやってるんやけど、区とこういう連携ができないかなみたいなご提案をいただいたらということです。

○田中委員　　今月の第一日曜に雨の中、運動会、無理にやりました。それはもうどろどろでした。だけど、結局予備日の火曜日にするともっとひどい雨やったんで、時間3時間ほどずらしましたが、あれはあれで、校長の先生の判断よかったと思うんです。ただ、保護者からはクレームがようけあったらしいです。だから、午前中はまだグラウンドはぬかるんでるんで団体競技だけやって、それでもう午後、乾いてからあとトラック競技やって。だから、終わったのが5時ごろですね。普通やったら3時過ぎに終わるんですが。うちの運動場狭いしね、駐輪場がないんで、お隣の聖美幼稚園さんをお借りするので、日曜日やったらお借りできる。でも、平日やったらもう駐輪場所も確保できないと。そのいう苦渋の判断やったと思うんです。そうやって、

長居のヤンマースタジアムですか、全天候型のところで参加するだけでも楽しいと思います。いい取り組みやと思いますね、体力づくりには。

○小谷委員　私、去年、大阪市教育委員会の体力向上で理事やらせていただいていたんですけど、長居のほうでも東中本小学校さんが行ってたというのは聞いておるんですけど、体力というのはなかなか幼児期からということで聞いてるんですけど、やはり、私としては、そういう先生方とかのお話し合いの中で、学校の先生たちでもなかなか投げ方でも走り方でも、本当にみんなまちまちなので、どちらかという、体育系の大学からそういう講師さんなりアスリートの方を呼んで子どもたちに教えるっていうのが一番っていうのが、一番聞いてるんです。やはり、東中本小学校も一回大学生をちょっと呼んで、ボールのキックの仕方とか、そういうのを教えたりとかしたんですけど、そのときは子どもたち、ああ、こうしたらよく飛ぶんやとか、そういうのをすごくわかったということがあったので、そういう長居運動場に行くっていうのもいいんですけど、ちょっと各学校を時間を決めての土曜授業なりでもいいんですけど、そういう大学なりアスリートさんを呼んで、そういう、これが正しい運動の仕方だよとか、バトンの運び方なり、そういうことを教えるという計画も立てていただいたらっていうのもあるんです。それと、先ほどすみません、ちょっと違うんですけど、スマートフォンということもおっしゃってたんです。話がちょっと飛ぶんですけど。私も市のPTA協議会の部会長もしてたんですけど、関西スマートサミットっていうのもやってて、それはなかなか子どもたちを呼んでの携帯電話のこんなところが良いとか、悪いとかの討論する取り組みで、各区のやり方っていうのもすごい、こんなところまで突っ込んでやってるんやという、各区が頑張ってるっていうところがすごく多いんですよ。ですので、東成区もスマートフォンの取り組みをやろうかっていうのを考えてるんでしたら、各区でやってる資料なりを集めていただいて、すごい勉強になるっていうのもたくさんあると思うので、やってもらえたら。大阪市PTA協議会もそれを毎年やってるので、そういう資料を貸してくださいといったら貸してくれるかもし

れないので。また、そういう事例を活用いただければと思います。子どもたちを交えてのスマートフォンというのが一番、だから、講師さん呼んで、こんな方がいいとかじゃなくて、子どもたちを交えての話し合いみたいな感じでやったほうがすごく身につくというのがあるので、また、そういう部分はやっていただきたいなと思ってます。

○井上課長代理　　また、改めて講師の方とか教えていただけたらと思うんです。

○小谷委員　　講師さんは、一人いい人がいるのはいるんですけど。

○井上課長代理　　東成区のほうでセミナーしていただきました。

○小谷委員　　同じネットワークの方かもわからない。その講師がおっしゃりはるには、5歳児から対象にと言ってはりまして。我々は、小学校3年生以上、中学校でも生徒とあと、そのプログラムが終わった後で、保護者も含めて、教職員も交えて、大人向けに子どもがこんなことをしたら危険だよっていうこともあわせて2部構成でできるような構成も今、講師の先生と調整はしておるんです。いろんなシーンでいろんな有名な方おられると思うんですが。非常にお忙しい方で、大阪市各区ちょっと取り合いになってる状態でして。

○川人委員　　実務的でわかりやすかったと思いますし、でも、相生中学校、私も今PTA会長をしてますけど、相生でも、今年もそうだし、去年もたしか来ていただいているんです。それは生徒を対象にした後に、保護者を対象にということも今考えてらっしゃるので、それは7月にまた行います。すごくためになりましたし、私も。きっとそれは子どもだけでなく親御さんも含めて、ぜひすべきやなと思いますし。

○森本区長　　先ほどのスマートフォンの取組みの中、議長よろしいでしょうか。

○田中議長　　はい、どうぞ。

○森本区長　　取組みの中で、少し変わってるというのは、旭区さんがスマートフォンのルールをPTAの方と学校と区と一緒にあって、例えば、中学校であると1日の使用時間は10時までで3時間までにしましょうとか、小学校だったら9時までで2時間にしましょうみたいなのを全区で皆さんで話し合っ決めてるというのがあります。

す。その前に、旭区のほうは、府立の旭高校がありますので、ライン白熱教室っていうのをやられて、ラインサミットとかした上で、そういう成果が出てきてるんですが、もし、そういう取組みが、例えば、具体的に毎晩行って何時間使ってますかっていうのはできませんので、一定、そういうみんなで小学生、中学生が守ろうよみたいな、スローガンみたいなのを作ったほうがいいんだったら、それもいいかなっていうふうには思います。これは旭区でやられてる取組みです。

○田中議長　ほかに何か。アスリートを呼んでというのは去年も、前回も提案してはりましたね。それは正しいスポーツのあり方というのを教えていただいて、ルールも習うのは、学校の先生でもちゃんと教えてくれてはるんやろうけどね、体育の先生が。

○小谷委員　そうなんですけどね。ちょっと違うっていうのがある。

○川人委員　先ほど小谷さんおっしゃってましたけど、僕もちょっと最近気づくのが、私たち、私40代なんですけど、40代の世代、同級生見てもそうだけど、キャッチボールできない子ととかってまずいなかったし、ほぼいないですね。それから、水泳してても、こんな息継ぎをしながらクロール泳いでるっていう子はほとんどいなかったと思うんです。今の小学生見てると、ほぼ、大半とは言わないけど、何人かに一人ぐらいの割合でそういう息継ぎをしたりとかしてるのを見ると、何で同じような授業をしてるのに、その差が生まれてるのか、僕もそれは不思議かなと思うんです。例えば、今20代ぐらいの子でもキャッチボール、本当できない子っていっぱいいるんです。そのかわりサッカーやってるとか、確かにあるかもしれませんが。でもちょっとそういう一般的なのができなくなってきたのかなと。

○濱田副議長　ボール投げるところがないねん。公園はあかん、道路はあかん、投げるとこあれへん。そやから、ボールでなしに、今もう、時代が変わって、蹴飛ばすぐらいやったらまだいいけど。投げてガラス割るとか。危ないとかいうて。自分とこの孫や子どもやったらあんまり怒らへんけどな。よその子やったら腹立つ人もおるか

らな。そやから、難しい。

○小林委員　もう少し、公園を開放してやるっていう何か策があればいいかなと思うんですけど。深江は公園が四つもあるんですけど、もちろん、ボール投げできないからね。結局、犬や猫の散歩の場所になってるからね。そういうのを時間制限してでも、土曜日だけはボール投げを許すとか、何かそういう方法とったらいいんじゃないかね。

○三枝委員　東京のほうは学生ボランティアを雇って、一定時間ボール投げとか、それを開放してるっていうことがありましたね。

○田中議長　ありましたね、時間制でね。

○三枝委員　キャッチボールできます。時間は4時から6時とか。

○小林委員　今、まるっきりだめでしょ。だから、それを少し公園課と話し合って、何とかしてもらえるようにしたらいいんじゃないかなと、いつも私、今、隣が公園なんですけど、いつも見てたらかわいそうやなと思うんです。

○田中議長　公園の遊具ももう安全性の高いものばかりになってますよ。ブランコはなくなるしね。

○小谷委員　どこかの小学校で校庭をボール投げだけで放課後、何日かだけは、そこはボール投げだけはできるっていう時間を作ってるっていう小学校があるっていうのは聞いてますけれど。だから、そういう校庭しか、公園はできないんだから、学校を開放、でも、先生たちは時間外のあれなので、一般の普通の父兄、保護者が見るっていう形でしかできないというのはおっしゃってましたけど。

○田中議長　各学校、小学校は施設開放委員会があって、日曜、祝日、講堂は晚使いますけども、夜間の照明設備がない限りは昼間しか使えませんがね。だけど、大体もう、サッカー、少年野球、キックベースって日にち決まっていますからね。

○杉原委員　土日しか使えない。

○田中議長　グラウンドゴルフはグラウンドゴルフで確保したい。すき間すき間で、

あいてる校庭はないんですけどね、土日の場合は。

○三枝委員 ボール投げにかかわらず、最近のお子さん、うちの子が小さいころ、運動会なんか見てても、何でこんな変な走り方するんやろうっていう子が増えてきたなとは思ってたんです。それっていうのは多分、体のバランスが、外遊びしないことで悪くなって、走り方まで、何であんな走り方なんやろうって。子どもは一番、自然な走り方できるはずなのに。私も体育の教師やってたのでわかるんですけども。

○小谷委員 これができないんですね。

○三枝委員 そうなんです。だから、その自然な走り方ができないのは、外遊びしないから、体のバランスが悪いので、幼少期からのそういう積み重ねだと思うんです。それがボール投げには顕著に出る。ただ、ボール投げは全国平均を上回ってるんですね。これ不思議ですね。

○杉原委員 小学校でも始業時間前とか、昼休み時間とか、全然グラウンド使わないようになってるんですか、今は。

○田中議長 休み時間皆遊んでますよ。

○濱田副議長 学校によって、出てへん。お昼でもほとんどおらんとも。

○田中議長 今みたいに暑いときはね。熱中症なんかあれですけど。

○濱田副議長 だから、そういういろいろなことで、責任が学校にかかったら学校は迷惑やからな。子どものためじゃない、先生が迷惑するから。だから、やっぱり、親御さんももうちょっとそういうことについて考えてもらわんと。もう文句言うときは徹底して文句言うからな。子どものためやいうても、そんなん放っておいてください言い出すからな。時代とともにやっぱり変わってきてるんです、もうね。先ほど、私、ちょっと聞いてたんですけど、長居で11月8日に全区小学校というのやるって言われてるんだけど、これ、東成区11校あるんですけど、全員連れていくんですか。

○森本区長 いえ、6年生だけ。

○濱田副議長 6年生だけでしょ。そしたらね、もう見とったら、私、去年、それ

をちょっと、似たようなんあったんで行ってましたんですけども。やっぱり、学校対抗になっちゃうんです、走らしてもね。応援するとき、皆、頑張れ頑張れ違うねん、その自分らの団体、長居のスタジアムの中だけ2周したらもう、差が物すごいつきます。中学生もやとったけどね。そんなんでも応援であれ、体力づくりでやるんやったらもうちょっと考えんと。行って、6年生だけ全部連れて行って、全部できることになればいいんですけどね。それで全国平均より上がった、上がったいうけど、全国平均のレベルがずっと下でね、47都道府県の中の30位ぐらいが平均やったら、そこから上が、どこが上か、平均というのは当てにならんです。どのぐらいのあれがあるんかいうこともやっぱり聞いて出してもらわんと。ただ単に勝った、負けたじゃなくて、今でも全国に勝ってるっていうのは、喜んでたらええんか、悪いんかね。しっかりしたデータのもとに考えないといかんのじゃないかなと思いますけどね。副議長、サポートせないかんのに要らんこと言うてすみませんけど。

○田中議長　そやから、今の長居の競技場使うのはいいことやと思うんですけども、先生だけ、どういうふうにして引率されるんですか。

○井上課長代理　学校ごとに。

○田中議長　バスで行くんですか。

○井上課長代理　いや、それぞれの学校が最寄りの駅から地下鉄で長居駅まで。

○田中議長　現地集合。

○濱田副議長　少ないわな、今、6年生だけいうたら、1学校。

○田中議長　大体、うちは90から100ぐらいいてますね。3クラスあるん違うかな、片江は。

○濱田副議長　学校によってやな、中本やったら一つ。

○森本区長　そうですね。小さいところありますね。

○田中議長　1クラスのところやったら楽ですわね、引率の先生は。

○濱田副議長　楽や言うてたらいかんねん、少ないの困んねんから。

○森本区長　　そうですね。人は増えていっていただいたらありがたい。

○濱田副議長　　子どもの、もっと増やさないかん言うてる時代やのになら。

○田中議長　　今年から大阪市が組み体操禁止やからね。

○杉原委員　　運動会6月、今月から皆さんやっておられるんだけど。

○田中議長　　朝のうちにやったんやけど、組み体操と違うから、こちらで見ててもわかりませんわ。一番あれがメインやったからね、前。チアリーディングもなくなりましたね。

○川人委員　　それは多分、先生の事情だと思うんですけど。

○田中議長　　いやいや、やっぱり上へ飛んだらあかんからやない。

○川人委員　　そうなんですか。

○森本区長　　顧問の先生が代わられたのでは。

○川人委員　　顧問の先生がいらっしゃらないと危険なことはできないということで今はチアリーディングじゃなくて。

○田中議長　　チアダンスでしょ。

○川人委員　　はい、そうですね。

○田中議長　　横に動くやつ。

○川人委員　　大分、がらっと変わったんですけど。確かに、飛ばすのは僕もびっくりして、この何年かであんなことできんのっていうぐらい、ばんばん飛ばしてましたから。それは先生がいらっしゃらないとかなり危険やと思う。

○田中議長　　3年ぐらいなるんやけども、だんだん高さが。舞台の上の天井に近いところ行くもんね。

○川人委員　　そうですね。びっくりしましたから。

○濱田副議長　　しっかり練習したらできるんやけどね。中途半端にすると、ちょっとしたことでも体力がないから。

○三枝委員　　そういう面でも指導者の力って大きいんですね。

○川人委員　　今回、その先生だから多分できたと思うんです。きっとちょっとしたことでけがっていっぱい起きるんですけど、そこで折れてしまったらできないと思うんです。強い信念を持って、先生も引っ張っていかないといけないから。それぐらいの力がないと、自分も大変だと思います、先生は確かに。

○三枝委員　　長居競技場に行くときに、さっきの有名アスリートを呼ぶっていう手もありますし。

○田中議長　　アスリートの競技はいろいろあるやろうけども、見てもらうというのもええかなと思う。

○三枝委員　　去年、中本では有名なアスリート選手に来ていただいた。写真だけ見せていただいたんですけど。

○森本区長　　正直なところを言うと予算がなくて、それだけは予約とれたので、今、言っていたいたみたいなのは、来年に向けて、ちょっと早いんですけども、今から準備してみたいなことになるかなと思います。例えば、本当にボランティアで、それこそ、来ていただけるような方がいれば、おっしゃってるように各学校指導とかね、大学生とか。

○田中議長　　長居競技場のグラウンドのトラックって400メートルですかね。400メートル走ったことない子ばかりやろうからね。小学生なんて。一度体験してみるのもね、おもしろい。競争じゃなしにね。各校が対抗になると、それこそ勝ち負けになっちゃう。

○濱田副議長　　400メートルやったら、100メートルのリレーですわ。そのぐらいなかったら。一度に400メートル走ったらひっくり返ってまう。

○田中議長　　小学校でも100メートルも走ってないですよ。50メートルぐらい走ってるのかな。小学校で100メートルとれんでしょう、直線で。

○杉原委員　　直線ではとれないです。

○田中議長　　トラックにしてね。中学校ぐらいならとれますね。

○杉原委員　　中学校は、本庄は２００メートル。

○田中議長　　長居の公園の確保でえらい盛り上がりましたが、ほかのご意見もあったら。

○松田委員　　昨日、ニュースでたまたま見たんですけど、ほかの区の実情として、各中学校の進学実績の状況とかを冊子に作って、保護者に配ってるとかいうのを、昨日、たまたま見たんですが、東成区ではどんな感じなんですか。

○森本区長　　うちの学校案内見ていただいたら今までも進学先を書いている部分があります。

○井上課長代理　　これの今年のバージョンを各区役所作っております。卒業後の進路というのを去年までは学校名だけを書いていて、そこに、大阪市の方針としては、人数まで入れるべきかどうかというところはまだまだ議論尽くさなあかんところというふうには聞いておるんですけども、ある区においては、それは人数を入れるということが大きな物差しになるという判断をされた区があるということで報道されていました。

○田中議長　　この間、新聞でちょっと見たんですけども、６月か７月から大阪府が子どもの貧困度調査というのはされますね。６万所帯か何か。

○森本区長　　今、ちょっと資料を持ってきてないんですけども、大阪府で子どもの貧困のことをすごく今の市長が大切だと思ってしまして、２回の推進本部を行いました。その中でおっしゃってましたように、一つは中学校、一つは小学校、一つは幼稚園とか保育所だったと思いますけども、実態調査をしようということで、学校を通じて、そういうことをお願いをするということになってると思います。それをもって、傾向とか何が足りないのかっていうことを考えていくことになると思います。

○田中議長　　親御さんの収入とか朝食べてるかとか、夜何時に寝るかという項目で、どんな項目かわかりませんが。そんな調査票なんかは入手するということはできるんですか。

○森本区長　　今はまだ出てませんね。多分、最終的にというのは、学校のほうにまだ行ってないんですよ。

○井上課長代理　　まだだと思います。

○森本区長　　まだですよ。行くと、逆に区長のほうにも同時期ぐらいには来ると思います。

○田中議長　　それを私ら知るということはできるわけですね、調査結果が終わった後。

○森本区長　　それは、推進本部とかも多分、オープンの中でやりますので、わかると思います。

○田中議長　　また、お知らせをお願いします。

○森本区長　　すごく大切なことで、ちょっとついでに発言させていただいて、今日も人権の推進協議会のほうでも子どもの貧困のことについて、先生を呼んでやっておりましたけど、なかなか先ほどの子どもの子育てプラザとか出てくる子はいいいけれど、隠れてる子がいるというのと同じで、貧困である子どもたちもなかなか地域でも見えなくて、どうしていったらいいかっていうのが大きな問題になってきますので、ご関心を持っていただけるのはありがたいです。また、情報がありましたら、ご提案とか情報提供していきたいと思います。

○田中議長　　今日のテーマとちょっと離れましたけど、すみません。

○森本区長　　いえ、すごく大切なことだと思いますので。

○杉原委員　　給食以外で食事がない子どもさんが。

○田中議長　　前は学校給食についてもちょっとお話がいろいろありましたね。まずいとか、冷たいとか。

○杉原委員　　中学校のほうの部分で。

○田中議長　　いろんな意見がございましょうが、まだ、ほかに、このテーマとずれてても結構ですので、お聞きしたいと思うんですが。副議長のほうからない。

○濱田副議長　一つ先ほど、ちょっと気になったのは、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブですか、このクラブの登録者数を20%、800人以上という話が出ておったんですけど、このクラブというのは、組織は東成区の区役所の中にあるんですか。

○西山課長　はい。組織というか、仕組みというか、東成区独自の取り組みです。

○濱田副議長　それで、その登録者数を800人にするということやったら、就学前の児童の20%が800人ということになると4,000人ぐらいおるわけですか。

○西山課長　そうですね。約1学年が700から750ぐらいの人数です。

○濱田副議長　それがずっと業績達成目標で27年度になると1,199人になって、27年度1年間の登録は802人ということで、あと、目標への800人と、802人やったら大体その目的が達成したということ。

○西山課長　はい。

○濱田副議長　それで、商店街が800人ぐらいの子どもが商店街でカードもらってやってるわけですか。

○西山課長　基本的には、どちらかというところ、主任児童委員さんとつながったり、身近な地域の子育てサークルを利用したりっていうのが主なつながりではあるんですけども。

○濱田副議長　トラブルなしにやってたらいいいんですけど、例えば、ライフなどで見ますとね、一回限りやとかね。1日1回限りとかね、いろいろなこと制約がだんだん、初めはそんなことなかったのに、1回限りやとかなんとかいっぱい変わった注意書きいうか、足かせや手かせやないけれど、何か、限定してやっていて、かえって向こうに迷惑かけてるのかなと思ったりも。やってることは、こっちでは喜んでてもね。子どもたちも喜んでるのかわからんけれど、企業側が協力的なのか、迷惑がってるのか、その辺もちょっと気になるんです。

○大野課長代理　そうですね、この制度が平成27年度から開始させていただきま

して、28年度で2年目を迎えるんですけども、企業側といいますか、商店街連盟様のほうからは、特にそういうトラブルめいた話もお聞きしてませんし、現状は、今後改善していく点は幾つかあるとは考えておるんですけども、2年目の今年度に至っては、特に、そういうことはないというふうな認識はしておるんですけど。

○濱田副議長　　子どもさん連れて行ってスーパーなんかで、私は一人やから自分でスーパーで買い物するんで、見てるんですけどね。子どもが親と一緒に行って、親は買わしたくないのを子どもはついていって、だめ何とか言って、怒ったりしてるんです。しまいには泣き出したりね。こういう制度があって、かえって子どもの教育うまいことってんのかなというようなことが多々見えるんでね。やっぱり、やってるほうは自画自賛でええ、ええ思っても、迷惑になってるところもあるんやないかなとか。それこそ貧困家庭やないけれども、貧困児童の中には買えない子もおるやろうしね。そういう問題もよく考えんと、何か子どもが一つ買ってどうのこうの、カード持ってね。動き回ってる子がおるんですよ。いつも同じ子違いますよ。そういう場面をよく見るんでね。私は、二日に一度ぐらいライフやとかあっちやこっち行きますけどね。そういう教育的に小さい子どもさんにカードのあれで、何か利点があるんやろうと思うけど、問題なければええがなと思って。教育のためにどういうふうにやってるのかなと思って。自画自賛あんまりしとって、本当に、商店街で問題が出たとき対処できるようにしとかないと。

○西山課長　　そうですね。商店街だけではないんですけども、店舗の方とも意見交換。

○濱田副議長　　意見交換して、やってもうたらいいと思います。何か1回限りですよとかなんとかって、みみっちい話やなと思ってね。私は2回も3回も行くから、私やったら、1回やったらと思ったりするんですけど。このごろ、クーポンとかポイントとかいうのがはやってるから、いろいろとあろうと思うんですけど。そんなことと。やり方は、先ほどの体力の、長居競技場の問題、やっぱり競争じゃなくて、本当の体

力づくりをしっかりとやってくれという意味で、お願いしておかないと事故あったときに対処きちっとやっておいてもらいたいと思ってます。どっちみち私らも、連盟からまた出てこいいうことになるかと思いますので。青少年スポーツ少年団か何かいうの、出てこいって言われるんで。

○森本区長　先ほどのすくすく・つながるクラブと商店街のことは、子どもを持ってる親のほうから言えば、クーポンがあったり割引がっていうことなんですけども、これはもう一つ目的がありまして、子どもさんを連れた親御さんが地域というか、商店街に出ていただいて、商店街の方たちとお話をしたり、それから、商店街のほうも若い層とか、今まで来てない層が来ることによって少しにぎわいとか、なるかなという二つの、目的がありまして、そういう目的から商店街さんのほうも、ことしについては協力的で、いろいろ区役所とお話をしていこうと言っていたいただきましたので、副議長言っていたいてるような、少し懸念材料については、きっちりお話をさせていただきたいと思います。

○濱田副議長　しといてもうて、結構です。すみません。結構です。

○田中議長　ありがとうございます。

ほかに、何かご意見、ご要望はございませんでしょうか。

まあ、あんまり早く終わってもいいんか悪いんかわかりませんが。予定の時間よりはちょっと30分ほど早いですが、もし、ないようでしたら、こちらで。ご質問どうぞ。

○三枝委員　しつこいようですが、このつながるクラブですか、どう考えても、業績目標に人数を増やすだけっていうのは、目に見えた数値目標にはなるんですけど、それで、子育てネットワークが構築されたとは言いがたいっていうところがあって、どう考えてもあるんです。もうちょっと業績目標を人数を増やすだけではなくて、そこから、どんな形のいいところに結びついたかっていうあたりのところまでもっていただけたら、それこそ、市民の目標になるのかなと思いますので、もう一度よ

ろしく願います。

○森本区長 はい。気持ちはもう、そのとおりやと思います。私たちも正直いうと、つらいところがありまして、数値で何かこれを出せというと、例えば、何かと結びついた数とかっていうのは難しいので、どうしても、登録者数にするんですけども、委員がおっしゃっていただいたことは、肝に銘じていきたいなと思います。ありがとうございます。

○田中議長 よろしいですか。委員の皆様には、不平も不満もあると思いますが、いい要望もありますので、とりあえず、本日出ました意見を、また、次の部会で進めてまいりたいと存じます。区役所におきましては、他区の事例や他都市の事例などを参考として、また、資料のほうをご用意いただきたいと思います。本日の議題は以上をもちまして終了いたしまして、区役所のほうに進行をお返しします。よろしくお願いいたします。

○中須賀課長 はい、どうもありがとうございました。スムーズな議事進行にご協力いただき、ちょっと時間早いですけれども、これをもちまして、本日の議事を終了させていただきたいと思います。

本日皆様方からいただきましたご意見につきましては、今年度の区政運営、あるいは、来年度の運営方針ですね。また、策定に当たって参考にさせていただきたいと思います。部会テーマについての資料についてはまた、次回までに用意のほうをさせていただきます。

第2回の部会の開催時期なんですけれども、こちらとしましては、また、8月下旬ぐらいに考えておりまして、ただ、詳細の開催日、あと、進め方につきましては、また、部会議長さんなり、副議長さんと相談させていただいた上で、決まり次第皆さんには連絡をさせていただきたいと思います。

なお、来月の7月16日土曜日に区政会議の本会議の開催を予定しておりますので、ご出席のほうよろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、部会を終了させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。